

平成 2 7 年度
(第 23 期)

事 業 報 告 書

自 平成 2 7 年 4 月 1 日
至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日



公益財団法人 とかち財団

平成27年度事業報告 目次

1	概況	-----	1
2	食産業支援事業	【公益目的事業1】 -----	2
	(1) 検査分析事業	-----	2
	(2) 試験研究事業	-----	2
	(3) 技術指導事業	-----	6
	(4) 人材育成事業	-----	8
	(5) 技術交流事業	-----	9
	(6) 情報提供事業	-----	10
	(7) 指定管理業務	-----	11
3	ものづくり産業支援事業	【公益目的事業2】 -----	13
	(1) 企業相談事業	-----	13
	(2) 検査分析事業	-----	13
	(3) 試験研究事業	-----	14
	(4) 情報提供事業	-----	15
	(5) 人材養成事業	-----	15
	(6) 産学官連携事業	-----	16
	(7) その他	-----	18
4	地域連携支援事業	【公益目的事業3】 -----	19
	(1) 物産振興支援事業	-----	19
	(2) 産業連携支援事業	-----	19
5	収益事業	-----	21
6	その他の事業	-----	22
	(1) ものづくりワンストップ無料相談会	-----	22
	(2) 中小企業向け支援制度説明会	-----	22
	(3) 視察受入	-----	22
	(4) 十勝圏域町村訪問	-----	23
7	管理運営事項	-----	24
	(1) 理事会	-----	24
	(2) 評議員会	-----	25
	(3) 資産運用委員会	-----	26
	(4) 行政特別委員会	-----	26
	(5) 十勝産業振興センター運営委員会	-----	26

1 概況

十勝地域の経済は緩やかな回復基調が見られるものの、TPP 協定交渉の大筋合意等、農業を基盤とした十勝地域にとって先行きの不透明感が増している。その一方で、地方創生に向けた官民の積極的な取り組みが進められる中、平成 27 年度に公益財団法人として 3 年目を迎えた当財団は、地域の産業振興支援機関として、十勝産業振興センター、道立十勝圏地域食品加工技術センターの機能を活かして、大学や試験研究機関、産業支援機関等と連携しながら、「ものづくり支援」と「地域連携支援」を両輪とした事業を展開し、地域産業の振興に取り組んだ。

食産業支援事業では、地域企業や事業者からの依頼による検査分析や技術相談への対応、技術指導さらには共同研究等に取り組み、ここから地域特産品を活用したカットラワンぶきの水煮や十勝産水牛乳を用いたバター等の商品化に繋がった。また、フジッコ株式会社等との共同により、十勝の代表的な農産物である枝豆の茎や葉に含まれ、血糖値上昇抑制等の効果が期待される機能性素材「大豆ピニトール」の生産及び活用技術の開発を目的とするプロジェクトを開始した。

ものづくり産業支援事業では、地場産農産物検査装置用高速画像処理エンジンを開発し、これを搭載した選別装置が商品化され道内各地の豆類調整施設に設置された。また、地場企業と共同して経済産業省の補助事業を活用した牛の個体管理システムに関する開発や、(公財)北海道中小企業総合支援センターの補助事業を活用した中規模事業者向けコンパクト型バウムクーヘンオーブンの開発並びに大径玉ブロッコリー用カッターの開発を行った。開発を支援した機械製品の販路開拓を図るため、札幌で開催されるビジネス EXPO に出展し普及に取り組んだ。前年度に当財団に導入された機械製品開発支援ツール(3D プリンタ・CAE ツール等)について、操作・活用技術習得を目的とした講習会を開催する等、その利用促進・普及等に取り組んだ。

地域連携支援事業では、十勝産加工食品等の販路拡大支援を目的として、首都圏で開催されたアグリフード EXPO2015 や FOOD EX JAPAN2016 に出展し販路開拓に取り組んだ。また、異業種・産学官の交流促進を目的とした「ヒューマンネット十勝」を年間 4 回開催し管内企業の見学のほか浦幌町を訪問し交流を深めた。また、当財団が事務局を担う十勝ブランド認証機構では、前年度に設置された「乳製品部会」を含む 4 部会の合計で、147 品目が認証された。

その他、収益事業で開発に取り組んだ自動操舵装置が長いも播種機に搭載され商品化に繋がった。また、前年度に引き続き、十勝圏域の企業等のニーズに関する情報収集や当財団の事業活動を P R することを目的に、班を編成し組織的、継続的に財団職員が町村訪問活動を実施した。

2 食産業支援事業 【公益目的事業1】

(1) 検査分析事業

企業等の依頼により食品成分や微生物の検査分析を実施し、公設試験研究機関として成績書を発行した。

表1 (試験分析件数)

年度	試験分析件数	内訳		
		依頼試験	依頼分析	謄本発行
27	58	48	10	0
25	79	32	45	2
23	40	16	24	0

※依頼試験の主なものは、一般生菌数、大腸菌群、耐熱性菌数、水分活性測定、糖度測定 等

※依頼分析の主なものは、灰分、水分、タンパク質、脂質、無機質、無脂乳固形分 等

表2 (市町村別検査分析件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
21	2	0	2	0	0	3	6	0	15
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	計
0	3	0	0	0	0	2	2	2	58

(2) 試験研究事業

① 共同研究等

地場農畜産物の高付加価値化や、食品衛生向上等を図るため、試験研究を行った。

表3 (研究テーマ一覧)

テーマ	
1	ブラウンスイス牛を用いた肉加工品の開発 (平成 27 年度) 内容：ブラウンスイス牛と他種の肉用牛の品質評価とメリットが出せるような商品開発
2	十勝産水牛乳等を用いた乳製品開発に関する試験 (平成 26～27 年度) 内容：乳製品加工時の課題解決のための製造技術の検討、流通時の品質維持に関する検討
3	地場産原料の粉末素材における利活用の検討 (平成 27 年度) 内容：粉末または乾燥素材の食品配合時の物性や作業性、仕上がりを与える影響についてデータ収集
4	海外向け製品の賞味期限延長技術の開発 (平成 27 年度～28 年度) 内容：保存中の色調、風味の劣化に対する各種包材の効果の検討
5	池田町特産品を用いた加工食品の開発 (平成 27 年度) 内容：ワインビネガー及び原料の分析に関する試験の実施

6	地場産作物乾燥・粉末素材の品質に関わる分析及び物性特性の解析（平成 27 年度） 内容：乾燥・粉末化条件を変化させ、成分及び物性特性を把握する
7	平成 27 年度地場産小麦の乾燥条件に関わる成分分析及び物性変化の解析（平成 27 年度） 内容：乾燥後の成分・物性に影響を与えない乾燥条件の調査

②外部資金を活用しての試験研究

（地独）北海道立総合研究機構（代表機関）及び北海道とコンソーシアムを構成して、農林水産省「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」を活用し、良食味の大豆制品育成に向けた成分分析及び品質評価を行った。（平成 26～30 年度）

また、公的機関・団体より、地場産食材の高付加価値化等を目的とする調査研究事業を受託し、品質評価等の業務を行った。

表 4（受託事業）

1	農林水産省	「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」（平成 26～30 年度） 北海道産大豆の高品質・安定供給を目指した 豆腐・納豆用品種の開発 内容：有望系統の食味関連成分等の分析と評価
2	更別村	シヤクヤクの有効活用に関する試験（平成 27 年度）
3	フードバレーとかち推進協議会	十勝産農畜水産物・加工品の付加価値向上・販路拡大推進業務（平成 27 年度）
4	広尾町商工会	十勝産しおの味覚評価調査業務（平成 27 年度）
5	帯広市	水道水味覚評価に係る試験・調査及びデータ解析業務（平成 27 年度）

③研究開発プロジェクトの共同実施

フジッコ株式会社（本社：兵庫県神戸市）とフードバレーとかち推進協議会（事務局：帯広市産業連携室）との間で、平成 27 年 3 月に締結された包括連携協定に基づく「食の高付加価値化」に向けた取り組みの一環として、十勝の代表的な農産物である大豆の茎や葉に含まれ、血糖値上昇抑制等の効果が期待される機能性素材「大豆ピニトール」の生産及び活用技術の開発を目的とするプロジェクトを共同で開始した。

表 5（共同実施事業）

内容
フジッコ株式会社とフードバレーとかち推進協議会の包括連携協定に基づく、 研究開発プロジェクト「大豆ピニトールシロップの生産及び活用技術の開発」の共同実施 ・目的：十勝産農産物（大豆）の有効活用及び高付加価値化 ・内容：原料茎葉の回収、シロップ生産技術の確立、シロップの品質評価及び配合食品の開発 ・実施期間：平成 27～31 年度（5 年間）

〔平成 27 年度の実施経過〕

中札内村農業協同組合の多大なる協力を仰ぎ、原料となる大豆茎葉の改修作業からスタートした。並行してとち財団 十勝産業振興センターに大豆ピニトールの抽出試験等に必要な試験機器、設備等を配置し、回収した大豆茎葉から大豆ピニトール抽出及びシロップ生産試験を行った。また、大豆ピニトールに関する啓発並びに普及促進を図るためのセミナーを開催した。



原料となる大豆茎葉の回収（H27.08～H27.09）〔実施場所：中札内村〕



濃縮装置（エバホール）



脱塩装置

試験設備の設置及び試運転（H27.09～H27.10）



大豆ピニトール抽出試験（屋外での煮出し作業及び報道取材）（H27.11.12）

表 6 (大豆ピニトール普及セミナー)

開催日	事業名	内容 (テーマ・講師等)	参加者数
H28. 01. 15	<p>平成 27 年度 フードバレーとかち講演会 地域資源高付加価値化研究会 「十勝産大豆[枝豆]の さらなる可能性を探索 ～大豆ピニトールを活用した 食品開発に向けて～」</p> <p>主催：(公財) とかち財団、 フードバレーとかち推進協議会</p> <p>後援：(一社) 北海道中小企業家 同友会とかち支部</p>	<p>・イントロダクション 「フジッコ株式会社とフードバレーとかち 推進協議会との包括連携協定について」 (フードバレーとかち推進協議会による事業説明)</p> <p>・講演 ①「機能性成分『ピニトール』を知ろう！ ～その特徴と期待される健康効果～」 講師：国立大学法人神戸大学 大学院農学研究科 教授 吉田 健一 氏 ②「“大豆ピニトール” が フジッコと十勝を結ぶ ～フジッコにおける十勝での取り組み～」 講師：フジッコ株式会社 取締役人事総務部長 山田 勝重 氏</p> <p>・展示・試食 大豆ピニトールシロップ及びこれを活用した調理 メニューの展示・試食</p>	58



講演風景



試食風景



【ふわっ甘 ミニドーナツ】



【甘うま!! とかちの恵み 南瓜スープ】

大豆ピニトール配合食品（ピニトールシロップを配合した調理メニュー）の開発（試作）

(3) 技術指導事業

当財団が有する技術やネットワークを活用し食品の衛生管理や新製品開発、課題解決やニーズ等に対応した食品加工に関する技術支援等を行った。

①企業等相談・訪問対応

表 7 (食品加工相談件数)

年度	相談件数	受付方法			原料区分			
		面接	電話	E-mail 等	農産物	畜産物	水産物	その他
27	599	255	256	88	391	140	21	47
25	545	247	208	90	373	130	19	23
23	297	171	104	22	218	60	15	4

※主な相談内容

- 1 加工食品の製造条件の設定、成分分析、物性測定の実施方法
- 2 賞味期限設定の検討

表 8 (市町村別相談件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
215	22	9	12	1	13	25	48	21	14
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
33	5	29	15	7	25	21	5	10	69

表 9 (現地技術指導件数)

年度	指導企業件数	原料区分			
		農産物	畜産物	水産物	その他
27	123	72	38	8	5
25	115	84	28	0	3
23	97	39	39	3	16

※主な指導内容

- 1 製造施設及び工程のチェックによる衛生管理上の原因究明
- 2 加工食品の安定製造に向けた条件の検討及び工程の確立

表 10 (市町村別現地技術指導件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
25	10	3	4	2	5	15	10	12	1
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
5	3	6	2	3	3	1	1	5	7

②アドバイザー等委嘱

市町村や関係機関からの要請に応じ、財団研究員を専門家として派遣した。

表 11（アドバイザー等委嘱）

委嘱内容	委嘱元・内容等	被委嘱者
アドバイザー	帯広市 HACCP アドバイザー	川原美香
委員	広尾町商工会 十勝産しお創りプロジェクト	葛西大介
	(公財) 北海道科学技術総合振興センター 道産機能性食品等開発に関する検討会	葛西大介
外部委員	国立大学法人帯広畜産大学 人体及びヒト試料研究倫理審査委員会委員	佐々木香子

③講師派遣

市町村や関係機関からの要請に応じ、財団研究員等を講師等として派遣した。

表 12（講師派遣）

	派遣日	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師	H27. 06. 16	北海道立農業大学校 農畜産物加工演習	本別町	佐々木香子
講師	H27. 07. 09	(一社) 帯広消費者協会 第 40 回十勝消費者大会	帯広市	大庭 潔
講師	H27. 07. 22	帯広大谷短期大学 特別講義 「とから財団とは-栄養士さんとの取組みを中心に」	音更町	梅沢 晃
講師	H27. 07. 27	北海道立農業大学校 農畜産物加工演習	本別町	佐々木香子
講師	H27. 09. 02	美唄市農業委員会 「加工品の開発における付加価値化」	帯広市	佐々木香子
講師	H27. 09. 03	(公社) 北海道豆類価格安定基金協会 第 63 回豆類生産流通懇談「十勝産雑豆素材の普及促進に関わる研究及び需要調査」	音更町	佐々木香子
講師	H27. 09. 11	帯広市 平成 27 年度帯広市消費者講座 「食品の賞味期限と正しい保存方法」	帯広市	佐々木香子
講師	H27. 10. 20	(一社) 発明推進協会 公設試知財アドバイザー連絡会議 「とから財団による支援の取組み」	東京都	大庭 潔
講師	H27. 11. 04	北海道高品質チーズ生産者標準 「小規模チーズ生産における衛生管理について」	帯広市	川原美香
講師	H27. 11. 09	町内乳製品製造企業 社内教育講座 「乳酸菌・フェージの基礎知識」	大樹町	葛西大介
講師	H27. 11. 17	北海道立農業大学校 講義「農産物流通論」	本別町	佐々木香子
講師	H27. 11. 30	豊頃町「チーズ加工施設における衛生管理等について」	豊頃町	川原美香
講師	H27. 12. 02	産業技術連携推進会議 北海道地域部会合同分科会 「味覚センサーによる客観的評価手法の検討」	札幌市	葛西大介

講師	H27. 12. 07 ～H27. 12. 09	帯広市地域雇用創出促進協議会 「チーズ加工技術講座」	帯広市	葛西大介
講師	H27. 12. 07 ～H27. 12. 11	帯広市地域雇用創出促進協議会 「ハム・ソーセージ加工技術講座」	帯広市	葛西大介 佐々木香子
講師	H28. 01. 21 ～H28. 01. 22	北海道女性農業者倶楽部 「食と農のふれあい祭り」	札幌市	佐々木香子
講師	H28. 02. 02	ふじのくに総合食品開発展 「地域の素材を生かした静岡と十勝の連携強化」	静岡市	赤間 仁
講師	H28. 02. 12	平成 27 年度「地域消費者問題懇談会」 兼「食の安全セミナー」	帯広市	川原美香

(4) 人材育成事業

衛生管理、新事業展開等に関する専門性の高いセミナー・講演会を開催したほか、技術者の資質向上を目的とし、研修生を受け入れ技術修得を支援した。

表 13 (セミナー等開催実績)

開催日	テーマ	講師	受講者数
H27. 05. 12、H27. 05. 14	微生物検査の基礎 (初級編)	川原美香	8
H27. 05. 26、H27. 05. 28	微生物検査の基礎 (中級編)	川原美香	7
H27. 11. 26	分析機器セミナー 「食感を数値化する」	英弘機構 (株) 小野 浩 氏	12
H28. 01. 15	地域資源高付加価値化研究会 「十勝産大豆[枝豆]の さらなる可能性を探る」	神戸大学 吉田 健一 氏 (株)フジッコ 山田 勝重 氏	58

表 14 (技術研修生受け入れ実績)

受入れ期間	研修内容	受入人数
H27. 04. 07～H27. 04. 10	JICA 研修生受入 (畜産物の衛生管理、品質管理)	8
H27. 04. 21～H27. 04. 28	JICA 研修生受入 (畜産物の衛生管理、品質管理)	8
H27. 06. 29～H27. 07. 03	微生物検査技術の習得 (一般生菌数、大腸菌群等)	2
H27. 12. 02、H27. 12. 04	JICA 研修生受入 (畜産物の衛生管理、品質管理)	7
H28. 01. 22～H28. 01. 27	チーズ用ジオトリカムスターター製造技術習得	1

表 15（十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会の開催）

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
H27. 09. 28	食品加工技術センター	HACCP の基礎から取得に関する勉強会、意見交換 「北海道 HACCP の取得について」 講師：北海道帯広保健所 技術主幹 通山志保氏	12
H28. 03. 09	食品加工技術センター	ナチュラルチーズの品質管理に関する情報提供及び意見交換	12

（５）技術交流事業

十勝圏域で食品加工や商品開発、品質管理に携わる経営者や技術者間の交流を促進するとともに技術課題解決や新製品・新技術開発を図るための研究会を開催した。

また、当財団が実施・支援する地域連携支援事業に研究員が参加し、技術情報提供のほか、加工食品の評価・検査等を実施した。

表 16（十勝圏地域食品加工技術者の会の開催）

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
H27. 07. 29	食品加工技術センター	カロリーアンサーの紹介と応用	8
H28. 02. 06	とかち館	十勝ブランド学べる大試食会 参加	7

表 17（研究員の参加実績）

実施・支援事業	開催日	開催場所	内容
十勝ブランド認証機構	H27. 05. 22	十勝産業振興センター	認証品に係る官能検査
	H27. 05. 26	十勝産業振興センター	チーズ専門家検査
	H27. 06. 06	マンマピッツァカフェ	平成 27 年度総会
	H27. 12. 08	十勝産業振興センター	新認証審査・官能試験
	H28. 02. 02	十勝産業振興センター	合同部会
	H28. 02. 06	とかち館	学べる大試食会
ヒューマンネット十勝	H27. 07. 09	帯広畜産大学	経営者・技術者間の交流促進及び技術情報の提供等
	H27. 09. 29	北海道畜産公社十勝工場、煉瓦亭	
	H27. 12. 03	(株)ホコ、十勝産業振興センター	
	H28. 02. 16	浦幌フーズドライ(株)ほか	
スクラム十勝シンポジウム 2015	H27. 10. 30	とかちプラザ	研究成果発表及び技術者間の交流促進
NPO 法人グリーンテクノバンクとの意見交換会	H28. 03. 07	食品加工技術センター	スクラム十勝・フードバレーとかち推進協議会との意見交換

(6) 情報提供事業（情報提供・成果普及・PR等）

研究開発事例や技術相談対応など技術支援成果を発表するとともに、ホームページ等により技術情報や事業内容・活動実績の積極的なPRを行った。

表 18（成果発表会の開催）

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
H28.03.03	十勝産業振興センター	平成 27 年度成果発表会（試験研究に係る成果発表等）	75



平成 27 年度成果発表会



成果発表会展示ブース

表 19（他機関の成果発表会での発表）

開催日	開催場所	開催内容
H27.05.14	東京ドームホテル札幌	道総研食品加工研究センター成果発表会での取組発表 発表テーマ：池田町特産品を用いた加工食品の開発 発表者：四宮紀之

表 20（ホームページの公開・運営）

区分	公開内容
食品加工技術センター	施設概要、業務内容、事業報告、研究発表成果、設備機器、各種書式のダウンロード等
十勝の食材データベース	十勝圏域の業務用食材の取扱い企業の紹介

(7) 指定管理業務

地域における食品加工技術の高度化を促進し、北海道の食品加工業の発展に寄与することを目的として設置された北海道立十勝圏地域食品加工技術センターの指定管理者として、施設の適切な保守管理を行い、施設等の情報提供や設備機器の利用促進活動を実施し、利用者へのサービス向上を図った。

表 21 (施設利用件数)

年度	利用件数	内訳	
		機器等	研修室
27	405	398	7
25	205	201	4
23	279	268	11

表 22 (施設利用時間)

年度	利用時間	内訳	
		機器等	研修室
27	989	945	44
25	1,472	1,465	7
23	637	581	56

表 23 (市町村別施設利用件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
215	15	0	9	0	10	1	115	0	0
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
7	12	9	9	0	0	0	0	1	2

食産業支援事業で取組み商品化に繋がった支援成果（一例）

1. 相談対応・技術指導



極上白艶プリン
(株)エイムカンパニー



だいずくん（大豆の燻製）
J A本別町



北の箱（野菜スナック）
(株)江戸屋



ペルル・ド・サラベツ（大手亡コフィチュール）
更別農業高等学校

2. 共同研究



湖水地方の真珠（水牛乳のモッツァレラ）
(株)大樹農社



十勝ワインビネガー（赤・白）
池田町ブドウ・ブドウ酒研究所

3 ものづくり産業支援事業 【公益目的事業2】

(1) 企業相談事業

当財団が有する技術やネットワークを活用し、技術提供や技術開発、コーディネーター等企業等の問題解決やニーズ等に対応したもののづくり支援を行った。

①企業等相談

表 24 (企業相談件数)

年度	相談件数	内訳					
		技術関係	知財関係	受発注関係	創業関係	経営関係	その他
27	313	174	21	17	1	5	95
25	303	204	21	9	2	3	64
23	317	195	26	15	9	21	51

表 25 (市町村別相談件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
187	1	2	4	1	5	0	47	3	1
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
0	2	5	1	0	3	1	0	0	50

(2) 検査分析事業

企業等から鉄筋やコンクリートの強度試験やパークゴルフ用品等の試験依頼を受け、公的な試験成績証明書を発行するとともに、企業等の製品開発や品質管理等を行うために設備機器の利用促進を図った。

表 26 (検査分析件数)

年度	検査分析件数	内訳		
		引張強度試験	圧縮試験	パークゴルフ用品他
27	413	216	0	197
25	551	286	49	216
23	416	213	96	107

表 27 (設備機器利用件数等)

年度	利用件数	利用時間
27	180	1,448
25	199	1,516
23	79	301

(3) 試験研究事業

企業ニーズに対応した研究テーマを設定し、北海道「地域のものづくり産業力強化対策事業補助金」、経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」等の補助金を活用し、地域企業等との連携・共同による製品開発に取り組んだ。

表 28 (北海道「地域のものづくり産業力強化対策事業補助金」研究テーマ一覧)

テーマ	
1	農産物検査装置用高速画像処理エンジンの開発(平成 25～27 年度) 内容：農産物の外観検査を高速かつ大量に実施するための画像処理システムの開発
2	血乳検査技術の開発(平成 25～27 年度) 内容：血乳混入量を迅速に測定可能な携帯型血乳検査装置の開発
3	クラウド対応型データ収集システムの開発(平成 27 年度) 内容：インターネットを介して装置の測定データ等を自動的に収集するためのプラットフォームの開発



北海道内各地の豆類調整施設に普及が進む、画像処理機能搭載型光学選別装置

表 29 (経済産業省 中小企業経営支援等対策費補助事業「戦略的基盤技術高度化支援事業」)

テーマ	
1	牛個体監視兼識別用デバイス及びクラウド個体管理システムへの連携ゲートウェイの開発 内容：牛の健康状態を個別に収集しリアルタイムに通知するシステム開発 (平成 26～27 年度)

表 30 (公益財団法人北海道中小企業総合支援センター助成事業「平成 27 年度中小企業応援ファンド事業」)

テーマ	
1	大径玉ブロッコリー用カッターの開発と販路拡大(平成 27～28 年度)
2	中規模事業所向けコンパクト型バウムクーヘンオープンの開発と販路拡大(平成 27～28 年度)

(4) 情報提供事業

ホームページや「十勝産業振興センターだより」の配信、各種セミナー等において財団の研究成果や技術情報等の提供を行った。

表 31 (情報提供の状況)

区分	内容
発表	H27. 05. 18 道総研工業試験場成果発表会における当財団の取組発表 (ポスター展示)
発表	H28. 03. 03 とかち財団平成 27 年度成果発表会 (試験研究に係る成果発表等)
配信	十勝産業振興センターだより第 46 号～第 57 号を道内 852 件配信
公開・運営	十勝産業振興センターホームページ (業務内容、事業報告、研究発表成果、設備機器、各種書式等)

(5) 人材養成事業

技術者の資質向上や機械製品開発ツールの利活用促進等を図るため、3 次元 CAD や 3D プリンタに関する技術講習会やセミナーを開催した。

①講習会

表 32 (講習会開催)

講習会名	開催日	受講者数	備考
3 次元 CAD 講習会	H27. 05. 14～H27. 08. 06	5	導入編
	H27. 11. 10～H28. 02. 02	5	応用編
	H27. 11. 26～H28. 03. 10	7	導入編
オンデマンド型 技術セミナー「マイコン」	H27. 12. 25～継続中	1	企業の個別ニーズに対応した技術トレーニング

②講師派遣

表 33 (講師派遣)

	派遣日	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師	H27. 11. 20	帯広鉄工協会 「3 次元 CAD の活用」	帯広市	西條大輔

(6) 産学官連携事業

関連団体とのシンポジウム開催による交流促進活動や、展示会出展等によるものづくりを中心とした企業支援成果の紹介・普及を行った。

①スクラム十勝シンポジウム 2015 開催

表 34 (スクラム十勝シンポジウム 2015)

開催日	内容	テーマ・講師	参加者数
H27. 10. 30	<p>スクラム十勝シンポジウム 2015</p> <p>「農業と食を中心とする “強い十勝” づくり ～フットバレーとかちの 実現に向けて～」</p> <p>主催：スクラム十勝 (帯広畜産大学、農研機構北海道農業研究センター芽室研究拠点、道総研畜産試験場、道総研十勝農業試験場、家畜改良センター十勝牧場、とかち財団)</p> <p>共催：フットバレーとかち推進協議会、十勝農学談話会</p>	<p>①十勝における研究開発力の発揮による 「フットバレーとかち」の推進 フットバレーとかち推進協議会 主査 藤芳雅人 氏</p> <p>②平成 26 年度 JST 調査事業報告 「資源循環型農業を核とした持続社会の創成」 帯広畜産大学 知財マネージャー 嘉屋元博 氏</p> <p>③十勝スマート農業協議会における ICT を基軸としたスマート農業モデルの実証 農研機構北海道農業研究センター 芽室研究拠点 上席研究員 澁谷幸憲 氏</p> <p>④農作業の省力化・効率化技術に関する 研究開発の動向 道総研十勝農業試験場 生産システムグループ 研究職員 加藤弘樹 氏</p> <p>⑤赤身牛肉の比較 ～乳用種牛肉と輸入牛肉はどう違うのか？～ 道総研畜産試験場 肉牛グループ 研究主任 大井幹記 氏</p> <p>⑥牧草種子生産による自給飼料増産への貢献 家畜改良センター十勝牧場 種苗課 栽培係長 寺戸貴裕 氏</p> <p>⑦地場産原料を用いた加工食品開発による 付加価値創出 とかち財団 事業部研究開発課 係長 佐々木香子</p> <p>⑧再生可能エネルギーによる アグリバイオグリッドの創生 帯広畜産大学畜産衛生学研究部門 環境衛生学分野 教授 梅津一孝 氏</p>	93

②委員会・展示会等

表 35（展示会等への参加）

開催日	開催場所	開催内容
H27. 06. 04	北海道ビジネスサポートセンター	北海道インキュベーション・マネージャー連携促進会運営委員会
H27. 11. 05 ～H27. 11. 06	アクセスサッポロ	第 29 回北海道技術・ビジネス交流会 「ビジネス EXP02015」



ビジネス EXP02015 の出展風景（十勝製食品加工機械の展示）

表 36（団体等への参画）

名称	主催	内容
IoT 推進コンソーシアム/ IoT 推進ラボ	経済産業省	モノのインターネットを活用した新たなビジネスモデルの創出
一般社団法人日本食品機械工業会		食品機械工業の進歩発展を図る（賛助会員）

③講師派遣

表 37（講師派遣）

	派遣日	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師	H27. 11. 05	インキュベーション・マネージャー養成研修	大分市	飛川剛

(7) その他

十勝産業振興センターの利用促進を図ったほか、機械製品開発ツール(3D プリンタ、CAE ツール等)の利用促進・保守管理業務を行った。

①機械製品開発ツールの利用促進・保守管理等

表 38 (受託事業)

1	帯広市	十勝地域機械製品開発ツール普及促進事業 内容：3D プリンタ・CAE ツールの利活用促進・保守管理等	利用件数 11 件
---	-----	---	--------------

②会議室等利用実績

表 39 (会議室等利用件数)

年度	利用件数	内訳		
		大会議室	中会議室	共同研究室
27	617	253	180	184
25	546	217	198	131
23	537	197	229	111

表 40 (会議室等利用人数)

年度	利用者数	内訳		
		大会議室	中会議室	共同研究室
27	19,945	13,933	4,738	1,274
25	17,421	11,528	4,886	1,007
23	15,763	11,305	3,661	797

4 地域連携支援事業 【公益目的事業3】

(1) 物産振興支援事業

十勝産の農畜水産物並びに加工品の販路拡大を目的とした販売 PR 事業を実施した。

表 41 (出展事業)

展示会名等	期間	出展者数
アグリフード EXPO 東京 2015	H27. 08. 18～H27. 08. 19	7 社出展
FOODEX JAPAN 2016	H28. 03. 08～H28. 03. 11	22 社出展



アグリフード EXPO 東京 2015 出展



FOODEX JAPAN 2016 北海道十勝物産館 出展

(2) 産業連携支援事業

十勝型産業クラスターの形成を図るため、企業・関係機関等の交流機会の拡大に努めたほか、十勝ブランド認証機構の事務局として十勝ブランド確立に向けた各種事業を行った。

表 42 (産学官交流会・ヒューマンネット十勝開催状況)

回数	開催日	開催場所	テーマ	参加人数
第 54 回	H27. 07. 09	帯広畜産大学	「畜大」	76
第 55 回	H27. 09. 29	北海道畜産公社十勝工場、煉瓦亭	「十勝の牛肉」	62
第 56 回	H27. 12. 03	(株)ホクコ、十勝産業振興センター	「中小企業の生産管理」	72
第 57 回	H28. 02. 16	浦幌フーズドライ(株)ほか	「浦幌町」	51



第 54 回 ファームデザインズカフェ見学



第 55 回 北海道畜産公社十勝工場見学

表 43 (十勝ブランド認証状況)

品目	工房数	品目数 ()内 H27. 03. 31 時
ナチュラルチーズ	5	3 8 (3 8)
パ ン	1 5	4 5 (4 4)
菓 子	1 0	2 4 (2 9)
乳製品	1 2	4 0 (3 5)
合計	3 7 工房(5 工房重複)	1 4 7 品目

表 44 (十勝ブランド管理運営状況)

管理項目	実施内容
会議開催	幹事会 (H27. 4. 17、H27. 11. 07) 2 回、支援委員会 (H27. 05. 28) 1 回
	4 部会合同部会 (H27. 12. 09、H28. 02. 02) 2 回
	定期総会 (H27. 06. 06) 1 回
認証検査	H27. 05. 22、H27. 05. 26、H27. 12. 08 3 回実施
個別衛生指導	H27. 07 1 工房 2 回実施

表 45 (十勝ブランド付加価値向上事業)

事業名	内容
パンフレット改訂、配布	13,000 部 H27. 07 より配布

表 46 (十勝ブランド販促 PR 事業)

事業名	内容
ホームページ、認証シール	運営及び改定、配布
ハピオ十勝ブランドフェア出展	H27. 06. 25～26 (4 工房出展)、H27. 06. 27～28 (5 工房出展)
十勝ブランド・スタンプラリー	期間 : H27. 07. 18～H27. 11. 03 34 店舗参加
とかちマルシェ	H27. 09. 05～H27. 09. 06 開催 12 工房出展
関係機関に対するチーズ斡旋販売	H27. 09 (4 工房参加)
十勝売り込み隊(太陽のマルシェ)	H27. 11. 14～15 10 工房 35 商品 (会場=東京都中央区勝どき)
帯広市ふるさと納税を活用した PR 参画	10 月～11 月加盟店募集、1 月 5 工房参画 (サービスクーポン)
十勝ブランド学べる大試食会 開催	H28. 02. 06、とかち館 26 工房参加 一般参加者 195 名

表 47（参画及び協力事業）

会議・事業名	協力内容
とから観光誘致空港利用推進協議会	委員
とからマルシェ推進協議会	委員
第21回とから大収穫市実行委員会	委員
My とから推進会議	委員
十勝ファームツーリズム等推進協議会	委員
十勝売り込み隊(太陽のマルシェ)実行委員会	委員
十勝海外展開連絡会議	参画
とから食推進会議	参画
十勝食育推進会議	参画
道東道とから連携協議会	参画
第9回菓子王国十勝「お菓子の家」づくり	後援
富士山・東北北海道広域ビジネスマッチング「食&農」こだわりの逸品展示会	後援

5 収益事業

企業等からの申し込みによる受託事業を行った。

表 48（収益事業一覧）

内容	
1	可動型アイスシェルターの環境試験評価（平成 26 年度から継続）
2	自動操舵装置の開発（平成 26 年度から継続）
3	ナチュラルチーズの賞味期限設定に関する評価試験
4	白とうもろこし「ホワイトショコラ」を主原料とする加工品の開発試験
5	断熱効果計算ツールの開発
6	AgriBus-GNSS 電子回路及びプリント基板設計
7	地域ブランド構築プロジェクトにおける農産物の成分分析



自動操舵装置を搭載した長いも播種機

6 その他の事業

帯広信用金庫、帯広畜産大学、とち財団の共催により、ものづくりにおける相談・技術支援等に迅速に対応することを目的に無料相談会を実施したほか、北海道経済産業局との共催により、中小企業向け支援制度説明会を実施した。

また、視察受入、職員による町村訪問を実施し、十勝圏域のものづくりにおける課題、ニーズ等の掘り起しを行った。

(1) ものづくりワンストップ無料相談会

表 49 (開催実績)

開催日	相談対応職員	共催
H27. 06. 17	葛西大介	帯広信用金庫・帯広畜産大学・とち財団
H27. 09. 11	四宮紀之	
H27. 11. 20	四宮紀之	
H28. 03. 23	四宮紀之	

(2) 中小企業向け支援制度説明会

表 50 (開催実績)

開催日	内容	参加人数	共催
H27. 04. 21	戦略的基盤技術高度化支援事業説明会	11	経済産業省 北海道経済産業局
H28. 02. 12	ものづくり補助金等中小企業向け支援制度説明会	88	

(3) 視察受入

表 51 (視察団体、内容等)

受入日	団体名等	内容	人数
H27. 04. 09	公益財団法人日本国際協力財団	地域ブランド形成の取組について	2
H27. 05. 07	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局	とち財団の取組について	1
H27. 05. 12	韓国済州島視察団	十勝の甜菜産業について	10
H27. 06. 24	幕別町農業振興公社	とち財団の取組について	25
H27. 09. 02	美唄市農業委員会	未利用資源活用について	5
H27. 09. 02	農林水産省、北海道	雑豆等に関する事業について	6
H27. 09. 08	釧路市、釧路公立大学	十勝ブランド認証について	8
H27. 09. 14	帯広工業高校	とち財団の取組について	45
H27. 09. 24	帯広畜産大学	食品加工技術センターの取組について	53
H27. 09. 24	JICA 研修員	とち財団の取組について	8
H27. 09. 29	JICA 研修員	食品加工技術センターの取組について	20

H27. 10. 14	一般社団法人発明推進協会	とかち財団の取組について	2
H27. 10. 15	韓国弁理士団、JETRO	とかち財団の取組について	10
H27. 10. 26	岩見沢市栗沢経済親交会	とかち財団の取組について	20
H27. 10. 27	石狩管内農商工連携関係者視察団	とかち財団の取組について	30
H27. 10. 28	長野県議会会派「自民党県議団」	とかち財団の取組について	2
H27. 11. 05	和寒町商工会工業部会	食品加工技術センターの取組について	15
H27. 11. 11	テクノラザ帯広	とかち財団の取組について	10
H27. 12. 03	JICA 中央アジア・コーカサス地域 中小企業振興コース	とかち財団の取組について	14
19件			286

(4) 十勝圏域町村訪問

表 52 (町村訪問実績)

年月日	訪問先
H27. 05. 13	豊頃町：豊頃町役場、民間事業所 1
H27. 06. 10	音更町：音更町商工会
H27. 07. 02	浦幌町：浦幌町役場、浦幌町商工会
H27. 10. 16	中札内村：中札内村役場
H27. 09. 24	足寄町：民間事業所 2
H27. 10. 20	豊頃町：民間事業所 1
H27. 10. 26	陸別町：陸別町役場、農畜産物加工研修センター、民間事業所 1
H27. 10. 27	音更町：音更町役場
	鹿追町：鹿追町役場、鹿追ワーキングセンター
H27. 10. 28	幕別町：幕別町役場、民間事業所 1
H27. 10. 29	広尾町：広尾町役場、広尾町商工会、民間事業所 1
H27. 11. 02	上士幌町：上士幌町役場
	士幌町：士幌町役場、JA 士幌町、士幌町食品加工研修センター
H27. 11. 16	大樹町：大樹町役場
H27. 11. 27	更別村：更別村役場
H27. 12. 10	本別町：本別町役場、JA 本別町、民間事業所 3
H28. 01. 13	池田町：池田町役場、池田町商工会
	幕別町：幕別町役場、民間事業所 1
H28. 03. 15	芽室町：芽室町役場
H28. 03. 23	新得町：新得町役場
	清水町：清水町役場

7 管理運営事項

(1) 理事会

①第1回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成27年5月18日（月）
審議事項	1. 評議員会開催について

上記審議事項について可決された。

②第2回

開催日	平成27年5月25日（月）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	9名（理事7名、監事2名）
審議事項	1. 平成26年度事業報告及び決算の承認に関する件について 2. 評議員会の開催に関する件について
報告事項	1. 平成27年度第1回理事会の開催（書面開催）について 2. 平成27年度事業予算額の変更（補正）について 3. 給与規則の一部改定について 4. 平成27年度事業経過報告について

上記審議事項等について了承・可決された。

③第3回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成27年6月19日（金）
審議事項	1. 理事長1名選定の件 2. 副理事長2名選定の件 3. 専務理事1名選定の件

上記審議事項について可決された。

④第4回

開催日	平成27年11月20日（金）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	8名（理事6名、監事2名）
報告事項	1. 平成27年度事業予算額の変更について 2. 平成27年度事業経過報告について 3. 退職手当に関する規則の一部改定について
審議事項	1. 特定費用準備資金等取扱規程の制定について 2. 特定個人情報等取扱規程の制定について 3. 知的財産規程の制定について 4. 共同研究規程の制定について 5. 受託事業規程の制定について 6. 就業規則の一部改定について 7. 基金資産運用規程の一部改定について 8. 評議員会の開催について

上記審議事項等について了承・可決された。

⑤第5回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成28年1月20日（水）
審議事項	1. 理事候補者の件 2. 評議員会開催について

上記審議事項について可決された。

⑥第6回

開催日	平成28年2月22日（月）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	9名（理事7名、監事2名）
報告事項	1. 理事の選任について 2. 平成27年度収支予算額の変更（補正）について
審議事項	1. 平成28年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 2. 会計規則の一部改定について

上記審議事項等について了承・可決された。

（2）評議員会

①第1回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成27年5月29日（金）
審議事項	1. 評議員選任の件について

上記審議事項について可決された。

②第2回

開催日	平成27年6月19日（金）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	8名
審議事項	1. 評議員の選任に関する件について 2. 平成26年度事業報告及び決算の承認に関する件について 3. 理事の選任に関する件について
報告事項	1. 平成27年度事業経過報告について 2. 平成27年度事業予算額の変更（補正）について 3. 給与規則の一部改正について

上記審議事項等について了承・可決された。

③第3回

開催日	平成27年12月15日（火）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	8名

報告事項	1. 平成 27 年度事業予算額の変更について 2. 平成 27 年度事業経過報告について 3. 退職手当に関する規則の一部改定について 4. 特定費用準備資金等取扱規程の制定について 5. 特定個人情報等取扱規程の制定について 6. 知的財産規程の制定について 7. 共同研究規程の制定について 8. 受託事業規程の制定について 9. 就業規則の一部改定について 10. 基金資産運用規程の一部改定について
------	---

上記審議事項等について了承された。

④第 4 回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成 28 年 2 月 3 日（水）
審議事項	1. 理事選任の件について

上記審議事項について可決された。

（３）資産運用委員会

開催日	平成 27 年 9 月 29 日（火）
開催場所	十勝産業振興センター 共同研究室
出席者	4 名
協議事項	1. 基本資産運用規程等の見直しについて 2. 今後の運用について

上記審議事項等について協議した。

（４）行政特別委員会

開催日	平成 28 年 2 月 3 日（水）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
協議事項	1. 平成 27 年度事業経過及び予算執行状況について 2. 平成 28 年度事業計画（案）について 3. 基本財産の状況及び平成 28 年度運営負担金について

上記協議事項等について了承された。

（５）十勝産業振興センター運営委員会

開催日	平成 28 年 2 月 15 日（月）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	14 名
協議事項	1. 平成 27 年度の事業実施状況について 2. 平成 28 年度事業計画（案）について

上記協議事項等について了承された。